

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Kid's Club

公表日 2025年 3月 10日

利用児童数 2025年 2月 18日

回収数 11/13家庭

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1				
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2	1	8	そういう機会、設けてほしいです。	ご意見ありがとうございます。感染症の心配がない時期に今後検討します。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	5		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	2		機会があれば参加したい。保護者向けの勉強会や意見交換会、施設見学等の機会があると有難いなあ…と思います。	ご意見ありがとうございます。計画して行きたいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1			事業所玄関、ホームページにも情報開示していますのでご覧ください。ブログからの発信も増やして行きたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		3		年に2回以上、災害時の訓練を行っています。非常食経験会も地域貢献事業より開催していただいたので今後も行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				いつも細かな所まで気にかけていただきとても感謝しています。ありがとうございます。	今後も専門性の高い支援をお届けできるよう努めて行きたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Kid's Club				公表日	2025年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5				
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2			感染症の心配がない時期に今後検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1			参加していますので今後も継続的に参加し、専門性の高い支援が提供できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		子どもと散歩をしている際、地域住民とのあいさつ等交流があると思う。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		細かく支援員同士の声かけ、確認ができていると感じる。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Kid's Club		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	Kid's Clubはお子さんが主体的に活動を楽しむ事を念頭にご支援してきました。こども達の「やってみたい！」思いを実現に向けて中にご家族の方からも満足度の高い評価をいただいております。	こども達と「こども会議」を開催し長期休みの活動内容や「やってみたい！」事を話し合う時間を設けています。日々の関りの中からの遊びについても職員がこども達の思いを丁寧に聞き取りして活動に生かせるプログラムを作成しています。	「こども会議」の開催を増やし、活動そのものの提案を含め、社会スキルについても皆で学ぶ時間を設けたり、喜びや悩みを話せる時間を作って行きます。
2	職員が障害や学齢期の発達、遊びについて捉え、個々の対応を丁寧に支援させていただいています。	日々のミーティングや活動後の情報交換の中でご支援で良かったことや課題を共有しています。	個々の対応や活動について職員の意見や見立てを共有した職員会議の開催を増やす事、事業所内研修や外部研修にも参加し専門性を高めていきたいと思っております。

3	こども達がKid's Clubに通所する事を楽しみにしてくれている事です。同時に職員も一人一人のお子さんに愛情を込めて関りお子さんと職員の信頼関係が構築されていると感じています。	法人理念であるクレドを職員全員が意識してお子さんに対応させていただいています。学齢期のお子さんの心と身体の発達を大切に受け止めお子さんの権利を損なう事がないように職員間の情報共有を大切にしています。	日々の支援の振り返りをし、お子さんにとって安心安全な支援が提供できるようにして行きます。こども達の声を聞き取り充実した活動が展開できるよう最善を尽くしていきます。
---	---	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方同士の情報共有する時間が取れずに来ました。	感染症に配慮した対応をしてきましたので保護者の方に共有する時間を設定できずに来てしまいました。	機会があったら参加したいという意見もいただきましたので今後検討していきます。参加しやすい時期や時間帯等、アンケートをさせていただくことから始めていきたいと思ます。
2	定期的に面談や相談など事業所内で時間を設ける対応が十分できていないことがあります。	お仕事をされている保護者の方が多く、午前中に時間をとっていただく事が難しいと感じてきました。メールや電話対応の相談は実施できていますが保護者の方がもっと気軽にお声掛けいただけるようにして行きたいと思ます。	午前中、時間をとりどんな小さな問題でも遠慮なくお声かけいただくようご案内します。お仕事の都合で午前中が難しい方は調整をし保護者の方の時間に合わせて対応できる準備をしたいと思ます。どの方も心配がある時は支援計画の面談以外でもお声掛けいただけるようお伝えしていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Little Kid's Club

公表日 2025年 3月 10日

利用児童数 2025年 2月 18日

回収数 16/16家庭

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				真摯に向き合ってくださっているのが子供を見ていてわかります。	今後も一人一人のお子さんの成長に繋がる専門性の高いご支援が提供できるように努力して行きます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11		1	4		感染症の心配がない時期に今後検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	2		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16				その日にあった事を連絡帳と言葉で伝えてくださるので、とても助かっています。	他にも送迎時にご家庭での様子を伺ったり、面談等で共有させていただきたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				職員の方々が、子供・親にも寄り添って考え、行動してくださっています。	ご家族の思いを大切に聞かせていただきたいと思っております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3		3		年度末の保護者会だけでなく年間回数を増やせるようにします。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		7		事業所玄関、ホームページにも情報開示していますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		5		感染症についてマニュアルを配布させていただいています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		6		年に2回以上、災害時の訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			2		協力医と連絡を取り対応させていただいています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16				リトルに通所する日は、とてもびのびとしているように思えます。	ご家族もお子さんも安心できる場所となるよう努めて行きます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16				とても楽しそうに通所しています。	嬉しい！楽しい！気持ちを沢山作って行きます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				17時過ぎ頃までみてもらえると良い。	現在の営業時間内で対応が難しくご不便おかけして申し訳ありません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Little Kid's Club				公表日	2025年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		危険個所にはチェックリストで対応して事故に繋がらないようにしています。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			虐待・身体拘束等の研修は全職員参加できているが他の研修も増やして行きたいと思います。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		支援プログラムは誰が見ても分かりやすいものに改善して行く予定です。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		準職員への共有が詳しくできるようにして行きます。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		準職員間では終了時間が異なる為、共有出来ない事が多いためノートの活用を継続的に行うようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	1		参加していますので今後も継続的に参加し、専門性の高い支援が提供できるようにしていきます。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		感染症の心配がない時期に今後検討します。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			保護者の方がいつでも気軽に相談できる環境づくりを行って行きます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			来年度は開催する回数を増やして行きたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			安全計画の見直しを行い職員と共有します。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			

○事業所名	Little Kid's Club		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 21日		2025年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ご家族の大切なお子様に対して愛情を込めて関わられる職員が勤務しています。一人一人のお子さんとアイコンタクトを取りながら笑顔で関り、幼児期に大切な愛着形成を基礎とした関りを基本としてご支援しています。	幼児期の発達支援について事業所内研修を行っています。個々の関りに職員が疑問に感じたことは朝、帰りのミーティングで共有し、職員が一人一人のお子さんの対応を理解した上でご支援できるようにしています。	・個別支援計画に沿ったご支援が出来るよう支援内容を職員間でその都度確認し見直しをしながらお子さんのご支援に生かせるよう努めます。 ・職員の支援技術が向上するよう事業所内研修を継続的に行い職員全員で学びあいます。
2	・発達に心配を感じたお子さんに早期の段階で遊びを通してアプローチする事でその後の発達を促す支援を大切にしています。	発達心理の知見から個々のお子さんの発達段階を捉え、ご家族や職員と遊び方、関わり方を共有しています。	発達について職員間で事業所内研修を行ったり、外部研修を受講して専門性を高めていきます。また保護者の方にもお子さんとのかかわり方を一緒に考え共有していきます。
3	保護者の方のお子さんに関する相談をいつでも気軽に相談できるようにしています。保護者の方の思いを大切に受けとめ、併用先の保育園や幼稚園とも連携をとり、お子さんと関わる大人が発達段階や関わり方を共通理解した上でご支援して行きます。	保護者の方からご家庭の様子を直接お聞きしたり、毎日ご家族との連絡ノートで共有し保護者の方の育児の応援が出来るようにしています。また、嬉しい事も不安な事もいつでもメールや電話でも対応させていただいております。	職員誰にでも保護者の方が気兼ねなくお声かいただき、嬉しい成長もどんな小さな不安に対してもご家族と一緒に考えて行ける組織作りをしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の方同士の関われる時間が少なく同じ子育てをしている中での疑問や不安の共有が出来ると良いというお話をいただきました。	年間で数回だけの保護者同士の情報共有する時間はありましたが、参加された方から「同じ気持ちの人がいて嬉しかった」「気持ちが軽くなった」「同じ気持ち悩みを共有できてよかった」「分かってくれる人がいた」「同じ気持ちになれて幸せな気持ちになれた」という意見があったので必要な時間だと感じています。	2か月に1回は継続的に保護者の方の「おしゃべり会」を開催していきます。お仕事等で参加できない方には事前にアンケートをいただき会の中で紹介し、保護者の方からの意見をフィードバックできるようにします。
2	幼稚園。こども園等、地域の中で他のお子さんとの関りが出来るタイミングが作れずにいました。	感染症が心配な時期があったため、また、移動や環境の変化に敏感なお子さんに対応するにはリスクがあると考えていたため実施できずにいました。	連携をとっている園に相談し、リスクを共有したうえで安全に実施できることを検討します。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要等の情報開示が発信できない状況にあります。	職員の勤務時間の問題がありブログ等配信できない状況にありました。	ブログ作成の時間の確保と更新方法を職員で共有していきます。